

令和 5 年度第 16 回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和 6 年 3 月 28 日（木） 18 時 30 分 ～ 19 時 30 分
場所	恩田ふれあいセンター
テーマ	子育て支援について
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 岬地区代表者（5 名） 岬地区コミュニティ協議会会長、岬 14 区自治会長、岬小学校 P T A 役員、岬学童保育クラブ主任放課後児童支援員、岬地区文化体育連絡協議会会長 ○ 恩田地区代表者（5 名） 恩田地区社会福祉協議会会長、恩田地区体育振興会副会長、恩田小学校愛育会会長、恩田小学校愛育会副会長 ○ 岬ふれあいセンター、恩田ふれあいセンター、こども未来部、教育委員会、広報広聴課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済的に困窮した世帯は、子や孫の世代にわたり連鎖する事例がある。行政として支援する仕組みが必要だと思う。（恩田地区社会福祉協議会会長） →経済的な理由だけではなく、様々な家庭環境により、困難を抱える子どもが増えている。本市は全国で初めて日本ユネスコ協会連盟と連携協定を結び、社会全体で支援する取組を始めている。困難を抱える子どもの支援については、学校や支援団体、行政が連携できるよう、こどもコーディネーターを設置している。地域の特性に合わせた支援策を考えていきたい。（市長） ○ 通学時の立哨の際、子どもの様子が普段と違うと感ずることがある。学校に情報提供した場合は、学校でしっかりフォローして欲しい。（岬地区コミュニティ協議会会長） →学校とこどもコーディネーターが連携し、役割分担しながらフォローしていきたい。（市長） ○ 学校区の再編と一緒に、自治会の区割りの変更や自治会や各種団体の役職の整理をしたいと考えているが、思うように進まない。役職の整理は、市の主導でやってもらいたい。（岬地区コミュニティ協議会会長、恩田地区社会福祉協議会会長） ○ 次年度の役員を市に提出する時期だが、地域で不要だと思う役職については、市に提案してもよいか。（岬 14 区自治会長） →まずは館長に相談、連絡して欲しい。自治会等の役職は、様々な法律等に基づき設けているが、市が主導して整理できないか検討したい。（市長） ○ 共働きの世帯が多く、子育て中の親は忙しい。PTA 役員を務めたが、必要のない役職や仕事が多いと感じた。昔と比べるとライフスタイルが変わっているので、今の時代に合った組織にして欲しい。（恩田小学校愛育会副会長） →組織は持続可能なものにしなければならない。組織を見直すにあたり、制度上のハードルがあれば相談して欲しい。（市長） ○ 学校は、いじめが起きてから対応するのではなく、いじめを未然に防ぐ取組をしてほしい。例えば、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが学校をパトロールするような取組ができないか。（岬小学校 P T A 役員） →現在、学校がいじめを見つけて早期に対応するために、いじめ対策推進支援員が各学校を回り、相談を受ける体制を整えている。（市長）

	<p>→パトロールも確かに必要なことかもしれないが、学校側としては情操面を育むことを第一に考えている。(学校教育課長)</p> <p>○ スクールソーシャルワーカーが学校に来るのは月1回程度であり、子どもの変化に気づけないのではと思う。学校に来る回数を増やして欲しい。また、将来的には常駐が望ましいのではないか。(恩田小学校愛育会副会長)</p> <p>→令和6年度から、教員が子どもとしっかり向き合える時間を確保できるよう、教員をサポートするサポート教員を増員する。教員とサポート教員の役割分担を明確にし、早期にいじめの対応ができる体制を整えたい。(市長)</p> <p>○ 教員の立場としての意見になるが、市として子どもたちに宿題を出さないという方針にしてみるのはいかがでしょうか。教員が宿題を添削する必要がなくなれば、子どもたちに向き合う時間が増えると思う。宿題が学力に影響がないという統計もある。(恩田小学校愛育会副会長)</p> <p>→教育長と相談し、検討したい。(市長)</p> <p>○ 産後ケア対策を強化してほしい。産後すぐに食事をつくるのは大変である。ファミリー・サポート・センターに依頼すると1時間600円と高額である。(恩田地区体育振興会副会長)</p> <p>→令和6年度から、産後ケア利用者の自己負担額を無償化する。(市長)</p> <p>→妊娠時と出産後に、それぞれ5万円を給付しているので活用して欲しい。(こども未来部長)</p> <p>○ 学童保育支援員が不足している。待遇面は良くなっているが、募集しても集まらない。支援員は、人事や労務管理、経理等の事務に時間を要し、負担になっている。(岬学童保育クラブ主任放課後児童支援員)</p> <p>→学童保育支援員研修が年1回しかないため、県に対し研修回数を増やすよう要望している。事務については、将来的には、市が委託した団体に一括管理してもらうのが理想と考えている。(市長)</p> <p>○ 市営プールが廃止となったが、市はどのように考えているのか。(恩田小学校愛育会会長)</p> <p>→市内には、温水プールを備えた民間のスポーツ施設が多くあり、大人のニーズは満たしていると考えている。子どもについては、各学校のプールを夏休みに開放したり、民間プールの利用料に対して補助金を出すという方法もあり、新たにプールを建設するよりコスト面でメリットが大きいと考えている。他の自治体では、学校プールの維持費削減のため、水泳の授業は、民間のスポーツ施設で専門指導員が行っているところもある。(市長)</p>
課題等	<p>○ 自治会等の役職について、市が主導して整理できないか検討する。</p> <p>○ 小学生、中学生に宿題を出さないことについて、検討する。</p> <p>○ 産後ケア利用料の完全無償化の対象サービスについて、拡充を検討する。</p>